



# Annual Report 2021-2022

ARUN means "dawn" in Khmer. It represents entrepreneurs' hope and energy to make a new society, like a new day at dawn.

ARUN commits to building a platform that leads to social investments by connecting the Japanese community with social entrepreneurs who use the power of business to solve social problems and work for social change.

**ARUN** Seed

ARUN(アルン)とは、カンボジア語で「暁」、「夜明け」、という意味です。

新しい社会を作ろうという希望とエネルギーをあらわしています。

特定非営利活動法人 ARUN Seed(アルンシード)は、

社会的投資の研究、普及、発展を目的として発足し、

社会課題に取り組む起業家を、投資の形で応援してきました。

投資先は、途上国で「貧困」等の社会課題に取り組む社会起業家です。

彼らは従来の援助に頼らず、

自立的なビジネスの力により貧困問題を解決し、社会に変革をもたらそうとしています。

投資活動を通じて起業家と支援者のみなさまをつなぐ中で、

より持続的で豊かな共生社会に資する「意思あるお金」のフローを創出し、

社会的投資を牽引するプラットフォームを構築することを目指して活動しています。

## 目次

P02 ARUNの由来、目次

P03 ご挨拶

P04 ARUN Seedについて

P05 私たちのこれまでの歩み

P06 ドゥ・アニャム 投資実行 / 投資概要

P07 ドゥ・アニャム 代表コメント、受益者の声など

P08 ステラアップス モニタリング概要 / 代表コメント、受益者の声

P09 ブックマイバイ モニタリング概要 / 代表コメント、受益者の声

P10 スクール事業

P11 途上国の社会起業家シリーズ

P12 会員・インターンの活動

P13 支援・参加のご案内

P14 講演 / 財務情報

P15 団体概要 / 協力パートナー

表紙写真 「インドネシア、ソロ島のカゴ職人たち」(ドゥ・アニャムより提供)

# ご挨拶

## Message from President

私たちがカンボジアで社会的投資を始めてから12年目に当たる2021年、ARUNはインドネシアでの投資を始めました。投資先は、女性の経済的な自立とエンパワメントを目指す社会的企業、Du Anyam(ドゥ・アニャム)。インドネシア、フローレス島で女性たちが置かれた苦しい状況を変えたいと、島で伝承されてきたヤシの葉を使った手工芸品の販売ルートを開拓、島の女性たちに安定収入の道を作ってきた企業です。

ドゥ・アニャムが事業を進める中で見えてきた課題がありました。それは9割以上を占めると言われる中小零細事業者のデジタル化の遅れです。在庫がなくなって慌てたり、帳簿も付けたり付けなかったり、経営基盤が安定しない事業者が多くいました。そこで、ドゥ・アニャムは、生産・在庫・会計などの管理を行うアプリサービスの提供を始めたのです。ARUNは、この新しい事業を投資で応援することで、より一層、女性たちの経済的な自立とエンパワメントが達成されるように協力していきたいと考えています。

本報告書では、ドゥ・アニャムの創業者やフローレス島の女性たちを始め、他の投資先企業の声、そして、ARUN Seedの会員、インターンの声も掲載しています。ぜひ、お読みいただけましたら幸いです。

2021年は、新しい事業も始めました。インド、ミャンマー、インドネシアなど現地の起業家とリアルタイムで交流できるオンラインイベントシリーズや、サステナブルビジネス・スクールです。ご協力くださった起業家、講師の皆様、ご参加くださった皆様に感謝です。また、新たに事務局スタッフを迎え、組織基盤の強化にも取り組み始めました。

社会的投資を通じて、社会課題の解決に取り組む途上国の起業家と出会い、困難な時代にあっても共に未来をつくる仲間となっていきたいと思います。ぜひ、みなさまもご参加、ご支援頂けましたら幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

機能 聡子

## ■ 代表プロフィール Profile



### 機能 聡子 Kono, Satoko

特定非営利活動法人 ARUN Seed 代表理事  
ARUN 合同会社 代表

民間企業、アジア学院勤務を経て、1995年より10年間カンボジアに在住。NGO、JICA、世界銀行などの業務を通して、復興・開発支援に携わる。カンボジア人の社会起業家との出会いからソーシャル・ファイナンスに目を開かれ、その必要性と可能性を確信しARUNを設立。日本発のグローバルな社会的投資プラットフォーム構築を目指して活動している。国際基督教大学、ロンドン政治経済大学院卒。  
SBI ビジネスプランコンテスト優秀賞、エコジャパンカップ2010環境ビジネスウィメン賞、第三回日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞、国際基督教大学 DAY(Distinguished Alumni of the Year)賞他を受賞。  
[Forbes Japan 世界で戦う日本の女性55] に選出。『60分でわかる！SDGs 超入門』(技術評論社)監修。

# ARUN Seedについて

## About ARUN Seed

### ■ ビジョン Our Vision

地球上のどこに生まれた人も、ひとりひとりの才能を発揮できる社会

### ■ ミッション Our Mission

途上国の人々のエンパワーメントと機会の創出  
参加型の社会的投資プラットフォームの構築

### ■ 事業概要 Our Services



#### 社会的投資の実践

Practice of Social Investment

途上国の課題解決に取り組む社会起業家に対して、必要な経済的・人的資源を投資の形で提供し、事業ステージ・事業形態にあわせて経営支援を行っています。



#### インパクト測定&マネジメント

Practice of Impact Measurement & Management

投資先企業の社会的インパクトを測定・可視化し、ステークホルダーへのレポートや社会的企業へのフィードバックを行います。



#### 社会的投資プラットフォーム構築

Social Investment Platform Building

社会的投資やソーシャルビジネスのグローバルな最新情報を発信し、社会にインパクトを与える仕組みづくりに取り組みます。



#### 普及啓発・研修

Learning & Researches

社会的投資のコミュニティ10万人形成に向けて、社会的投資やSDGs、サステナビリティ等に関する研修事業、調査研究、普及啓発活動を行っています。

※社会的投資とは、ビジネスを通じて貧困、雇用、環境などの問題を解決する社会的リターン、そしてビジネスの成功による経済的リターン、そのどちらも追い求める新しい仕組みです。こうした投資手法が広がることによって、社会課題の解決に取り組むビジネスに資金が集まり、持続可能な社会の実現に近づいていくことが期待されています。

# 私たちのこれまでのあゆみ

## ARUN Seed's History

- 2009**
  - SIFC(Social Investment Fund for Cambodia)を設立、カンボジアでの社会的投資を開始
  - 社会的投資プラットフォーム構築を目指してARUN 合同会社を設立
  - 農作物の流通・販売を行うカンボジアの会社へ投資
  - SBIビジネスプランコンテスト優秀賞受賞
- 2010**
  - エコジャパンカップ環境ビジネスウィメン賞受賞
  - ヘア・エクステンションの製造・販売を行うカンボジアの会社へ投資
  - 社会的投資の普及啓発、調査研究、人材育成を目的として一般社団法人ARUN LABを設立
- 2011**
  - 第一回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
  - カンボジアの若者にIT教育と就労の機会を提供する会社へ投資
- 2012**
  - 第一回ソーシャルインベストメント国際シンポジウムを開催
  - 第二回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
  - 環境と文化に配慮したホテルを運営するカンボジアの会社へ投資
- 2013**
  - 第二回ソーシャルインベストメント国際シンポジウムを開催
  - 第三回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
  - 無電化地域でソーラーパネルの販売、メンテナンスを行うカンボジアの会社へ投資
- 2014**
  - インドでの社会的投資を開始
  - 一般社団法人ARUN LABの事業内容を引継ぎ、特定非営利活動法人ARUN Seedを設立
  - ソーシャルインベストメントスクール開始
  - 医療過疎地域におけるITを活用した一次医療サービスを行うインドの会社へ投資
- 2015**
  - 日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞を受賞
- 2016**
  - インドとバングラデシュで地下水浄化システムの開発、設置、メンテナンスを行う会社へ投資
  - 第一回CSIチャレンジ(CSIチャレンジI)の実施
- 2017**
  - 東京都より認定を取得し、認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)となる
  - 酪農事業向けIoTサービスを提供するインドの会社へ投資
- 2018**
  - 第二回CSIチャレンジ(CSIチャレンジII)の実施
- 2019**
  - 代表功能聡子が、国際基督教大学(ICU)同窓会よりDAY(Distinguished Alumni of the Year)賞を受賞
  - 家事労働者マッチングサービスを提供するインドの会社へ投資
- 2020**
  - 第三回CSIチャレンジ(CSIチャレンジIII)の実施
- 2021**
  - 伝統工芸品の販売、アプリを通じた生産者支援により、農村女性のエンパワーメントを図るインドネシアの企業へ投資
  - オンラインイベント、途上国の社会起業家シリーズ開始
  - サステナブルビジネス・スクール(入門編)開始

# 2021年の活動内容

Year 2021 activities

## インドネシアの社会的企業に新規投資を実行

New investment in a social enterprise in Indonesia

### ■ 投資を実行

2021年11月に、CSIチャレンジⅢの最優秀賞受賞企業であるDu Anyam(ドゥ・アニヤム)に対する投資を実行しました。

2021年初めから、オンラインでのデューデリジェンス、事業や経営状況の精査を経て、2021年6月に投資を決定しました。その後も、定期的に起業家とのミーティングを重ね、事業が目指すインパクト、インパクトを測る評価指標の設定、投資条件の調整などを行いました。コロナ禍で全てのプロセスをリモートで行わざるを得ず、通常より長い時間がかかりましたが、11月に投資契約を調印し、50,000ドルの投資を実行しました。

投資資金は、中小零細事業者に対して、生産、在庫、会計管理に加えて、金融、eコマース、輸送サービスへのアクセスを提供するアプリサービスKrealog(クレアログ)の開発・拡大に使われます。

### ■ CSIチャレンジⅢ(クラウド・ソーシャル・インベストメント・チャレンジⅢ)とは

CSIチャレンジは、社会課題の解決を図る起業家支援のためのビジネスコンテストです。社会起業家を発掘する「ビジネスコンペティション」と、日本で寄付を呼びかけながら社会的投資を促進するためのプラットフォームづくりを目指す「クラウドファンディング」の両輪で構成されています。

CSIチャレンジⅢは、2020年に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で深刻な問題に直面している途上国の人たちに寄与するビジネスを展開する起業家の発掘・支援を目的として開催しました。クラウドファンディングでは、281名の方から552万円のご支援をいただきました。ありがとうございました。

ビジネスコンペティションでは、全世界を対象に起業家を募集し、アジア、中東、アフリカを含む26カ国104社から応募がありました。事業内容は、農業、教育、環境、ヘルスケアなど多様な分野に渡り、応募企業の35%は女性経営者が率いる企業でした。書類選考、オンラインインタビューを経て、インドネシアの社会的企業ドゥ・アニヤムが最優秀賞を受賞しました。

#### 投資先企業

**Du Anyam(ドゥ・アニヤム)** <https://duanyam.com/en/>

#### ①企業概要

ドゥ・アニヤムは、農村部の職人と購買企業を繋ぎ、サプライチェーンの見える化を行っています。また、農村部の職人や零細事業者に対する各種研修を提供し、将来的には金融へのアクセス提供も検討しているインドネシアの企業です。農村女性の工芸品生産からの収入の増加・安定化による、女性のエンパワメントや貧困削減が期待されています。



工芸品のサプライチェーン管理を通じ、農村の女性の収入向上を図る

#### ②投資後経緯、ビジネスの成長

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、主軸の工芸品販売で観光関連産業(ホテル向け、土産品など)は厳しい状況が続きました。しかし、企業・政府向けの販売を伸ばすことができ、最終的には過去最高水準の売上を達成しました。加えて、今期から開発したアプリ「クレアログ」のサービス提供を開始。政府と連携した、中小零細事業者向け職業訓練サービスの提供による売上が大きな割合を占めました。政府、NPO等とのパートナーシップにより、400以上の都市、1,600人以上の中小零細事業者に対して、生産、在庫、会計管理などに関する研修を提供することができました。クレアログ関連サービスの開発にあたっては、エンジニアの雇用も積極的に進めています。



フローレス島で生産されたカゴ

#### ③今後の展望

2022年度は、グローバル企業とのサプライヤー契約の締結をきっかけに、国内・海外共に、販路の拡大を見込んでいます。クレアログについては、eラーニング、電子決済などの機能拡充、アプリをつづじた金融、eコマース、輸送サービスへのアクセスなどの開発をさらに進め、登録者数、アプリ内取引を増加させていく予定です。

#### ドゥ・アニヤムCEO: アザリア・アユニンティアス氏のメッセージ



2021年は、観光業向け販売は回復せず、企業用ギフトが主力となりました。小売では世界的な大手家具量販店との取引が開始。今後は輸出にも注力し、デジタルマーケティングを強化していきます。秋にエンジニアチームを強化して以降、アプリ「クレアログ」の開発が更に進んでいます。2022年には、在庫機能や発注機能を改善し、利用者数の増加を目指します。

ARUNには、資金面での支援はもちろんですが、ネットワークや知見を結集して、ドゥ・アニヤムファミリーの一員のように親身にサポートしてくれていることに、とても感謝しています。

#### サービス提供先の受益者の声

ドゥ・アニヤムからの収入により、家族のために野菜、魚、卵などを定期的にご購入できるようになりました。子供の教育費も払えるようになりました。(マリアさん、職人)

ドゥ・アニヤムが私たち職人へ提供してくれている生活支援により初めてメガネを受け取り、夜や夜明けでも、快適に織ることが出来るようになりました。(コーネリアさん、職人)

#### ARUN 投資チームの声

普段は現地へ飛んで行うやり取りも、コロナ禍によりすべてリモートで行わざるを得ず、インパクト評価指標や投資条件の調整に加え、契約書の作成や文面調整にも時間を要しました。結果10か月のデューデリジェンスと交渉を経ての投資実行となり、完了した際には達成感もひとしおでした。契約書の作成や文面調整には、ARUN側もドゥ・アニヤム側もプロボノの弁護士の方々のお力を借りました。多大なサポートに大変感謝をしています。また、今回の投資の原資を、クラウドファンディングを通じて寄付してくださったサポーターの皆様改めて感謝を申し上げます。



## 投資先企業のモニタリング

### Monitoring Arun's existing investments

#### ■ 投資先モニタリング概要

ARUNでは、投資先の企業に対して隔週でミーティングを行い、起業家の経営支援を行っています。月次で業績推移を確認する他、社会的インパクトを表す指標を定めて、測定、モニタリングを行っています。また四半期に一度、投資先企業のレポートを作成し、会員と共有しています。

#### 〔CSI チャレンジⅠ 投資先モニタリング〕

投資先企業 **Stellapps(ステラアップス)** <https://www.stellapps.com/>

##### ①企業概要

2011年に代表ランジス・ムクundan氏はじめ大学の同級生5人でインド・バンガロールに設立。インドでは高い乳製品需要から酪農セクターの市場は巨大であるものの、牛乳の多くは零細酪農家により生産され、非効率さや流通過程のロスが多いなどの課題を抱えていました。同社はIoT技術を用いて、牛の健康状態の遠隔管理サービスや、牛乳の保冷システムなど、サプライチェーン全体の効率化に寄与するソリューションを提供しています。

##### ②モニタリング概要

- 資金調達  
2021年度に増資による資金調達を行いました。自社サプライチェーンの拡大や、牛の健康状態を管理するウェアラブルの開発資金に充当する予定です。
- 自社サプライチェーンの拡大  
子会社であるムーマーク社を通じた自社サプライチェーンの拡大に注力しています。生乳の収集から、OEMで乳業メーカーに生乳・加工品を卸すところまでの一貫したサービスを担っています。

#### ステラアップス CEO: ランジス・ムクundan氏のメッセージ



2021年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響でビジネスも打撃を受けたものの、9月に資金調達などを行い資金繰りの困難を脱出することができました。現在は、COVID-19も収束して売上に勢いが出たので、2022年もこのままの勢いで乗り越えたいです。

2022年は、さらなる業績改善を目指すほか、今後2年ほどのキャッシュフローを見据えて資金調達を行う予定です。調達した資金は、主にサプライチェーンの拡大に使用する予定です。

今後、事業・サービスを拡充していく上で、乳製品など食品メーカーはもちろん、銀行・保険、農業資材、テクノロジーの分野での連携が必須です。ARUNにはこうした企業との橋渡しを期待しています。

#### サービス提供先の受益者の声

(生乳の納入先が)ステラアップスのシステムを導入したことにより、自分が納めた生乳の量や質がその場でわかり、またそれに対して納得のいく対価がタイムリーに支払われるようになりました。



牛乳の品質アップと小規模農業の収入アップを実現 ▶

#### 〔CSI チャレンジⅡ 投資先モニタリング〕

投資先企業 **BookMyBai(ブックマイバイ)** <https://www.bookmybai.com>

##### ①企業概要

2015年に代表アナバム・シンハル氏によりインド・ムンバイで設立されました。インドでは、伝統的に家事労働者の需要が高いものの、雇用者の家庭内で、契約書もないまま低賃金・長時間労働を強制されるなど搾取されやすく、社会問題となっていました。同社はアプリを活用して効率的かつ安全に雇用者と家事労働者のマッチングを行っています。公平な契約の確保と家事労働者の待遇改善を通して、労働者とその家族の生活水準や教育水準の向上、貧困削減を目指しています。

##### ②モニタリング概要

- マッチングアプリサービスを開始  
2020年、2021年とコロナ禍による都市封鎖で、労働者派遣サービスは大きな打撃を受けました。そこで、ブックマイバイ社は、新たなサービスとして雇用者とワーカーを直接結びつけるアプリを開発しました。現在ムンバイ、バンガロールでパイロットを実施中。今後、アプリの提供によるサービスの全国展開を計画中です。
- 家事労働者派遣サービスはコロナ前の水準に回復  
現在は、都市封鎖も解かれ、新規雇用者数はコロナ前の水準に回復しつつあります。今後の事業展開については、上述した新サービスによるスケールアップを検討しています。

#### ブックマイバイ CEO & COO: アナバム・シンハル氏のメッセージ



2021年は、売上高の停滞から脱出できた、成果と学びの多い年になりました。月平均の売上高は半年前と比べて、約150万円増加しています。

大きく三つの学びがありました。第一に、リモートワークが可能であること、第二に、需要が堅調で対応できる従業員の増員により利益が増すこと、第三に、自分たちでアプリを開発できるという自信です。

2022年は、アプリの拡大と機能の向上に努め、引き続き売上高の増加を目指すほか、SNSを活用した効率的なコミュニケーションに力を入れたいと考えています。雇用プロセスの自動化により、より多くの女性に仕事を与えることを目指したいです。

インドの大都市で家事労働者として働く女性の多くは地方出身者です。彼女たちは家計を支えるため、子供を学校に通わせるために、働きに出てくるのです。ARUNや、皆さんのご支援は、私たちの事業を通して、こうした女性たちに公正な職場を提供し、支援することに役立っています。

#### サービス提供先の受益者の声

ブックマイバイは、雇用主と上手くいかない場合には新たな職場を見つけたり、問題が起こった場合にはすぐに対応してくれるなど、常に労働者の立場に立って支えてくれます。またアパートや食事も提供してくれるので、特に職を失った時にはとてもありがたいです。



女性の人権に配慮した雇用を創出し、貧困をなくす

# スクール事業

## Sustainable Business School

### ■ スクール事業

スクール事業は、ARUNの社会的投資のコミュニティ10万人形成に向けた普及啓発活動の柱として、2014年に開始しました。累計200人以上の受講者と共に、その裾野を広げています。また将来を担う若い世代に対して、社会的投資の概念を普及するために、高校や大学等の教育機関で、学生向けの講座も行っています。

### ■ 2021年度のスクール実施状況

2021年11月から、サステナブルビジネス・スクール(入門編)を開講しました。

新しい講座では、ソーシャルインベストメント・スクールとして実施してきた講座の内容を、SDGsやサステナビリティなどへの理解を入り口として、より幅広い関心に応えることができるようにリニューアルしました。

サステナブルビジネス・スクールは、2021年度は、合計5回開催しました。サステナブルビジネス、サステナブルファイナンスの分野の第一線で活躍する講師にご登壇いただき、気候変動、エネルギー、医療、人権、地方創生など、専門的な観点から、ビジネスとファイナンスの新しいあり方を学び、考えることができました。

### 講師陣



#### 大久保明日奈

- 株式会社オウルズコンサルティンググループ プリンシパル
- 一般社団法人エシカル協会理事



#### 渡辺珠子

- 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター スペシャリスト



#### 岩田まり

- 三菱総合研究所 海外事業本部アジア事業グループ研究員



#### 小柴巖和

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部 部長



#### 菅野文美

- 一般財団法人 社会変革推進財団 事業本部事業本部長



#### 功能聡子

- 特定非営利活動法人 ARUN Seed 代表理事
- ARUN 合同会社 代表

### 参加者の平均満足度

これまでの  
スクール実施回数 ▶ **32** 回

累計受講者数 ▶ **267** 名

参加者の平均満足度  
(5点満点中) ▶ **4.5** 点

### スクール参加者の声

世界の競争軸を変えるツールとしてSDGsが必要となり、欧州がそれを活用している点が驚きとともに、なぜ欧州が率先して取り組み進んでいるのかがつながり、腹落ちしました。

SDGsやESGに関して幅広く分かりやすくまとめて頂いており大変勉強になりました。特に自分にとっては企業にとってSDGsやESGがどのように映るのかを、考えたことがなかったため興味深かったです。

内容が豊富でもっと深掘りして勉強したいと思いました。また金融分野ではサステナビリティをフレーミングする枠組みが非常に多いので驚きました。

# 途上国の社会起業家シリーズ

## ARUN Seed Entrepreneur Series

### ■ 起業家シリーズ

「ARUN起業家シリーズ」は、途上国で社会課題解決に取り組む社会的企業を紹介するイベントです。毎回、起業家ご本人をお招きし、企業に至った経緯や、これまでの取り組みと課題、今後の展望などを語っていただいています。また、参加者からの質問をもとに、起業家と議論を深める場も設けています。

2021年度は5社の社会的企業を招いて開催しました。

### 2021年

8月 ドゥ・アニヤム「DXで手しごとを世界に〜インドネシア女性起業家たちの挑戦」  
インドネシアの伝統工芸品販売、アプリによる事業支援などのサービス提供。創業者チームと、インドネシア、フローレス島からカゴの編み手さんも参加して開催しました。

10月 グリーンノベーター(会員限定)<sup>※1</sup>  
ミャンマーでスマホアプリを活用した農業支援事業を展開。創業者2名を招き、事業の状況や今後の展望などについて意見交換を実施。現在の情勢に鑑み、会員限定イベントとしました。  
<sup>※1</sup>:CSIチャレンジのファイナリスト企業

11月 ステラアップス「酪農王国インドから、IoTが革命を起す」  
インドで酪農のサプライチェーンにIoTサービスを提供。創業者、及びステラアップスとの連携を検討中の日本企業を招いて開催しました。

### 2022年

1月 ブックマイバイ「公正なはたらく場を。変わるインドの家事労働サービス」  
インドで家事労働者のマッチングサービスを提供。創業者を招いて、インドの労働事情、コロナ禍での挑戦などについて聞きました。

3月 ジャントリ イノベーション<sup>※2</sup>  
「インド発ー距離と格差を超えて、妊産婦を救うDXイノベーション」  
インドで妊産婦向けのリモート診断装置を提供。妊産婦、乳児死亡率とも高いインドにおいて、デジタルテクノロジーを用いて母子の健康管理を行うビジネスの現状と課題を聞きました。  
<sup>※2</sup>:CSIチャレンジのファイナリスト企業



ドゥ・アニヤム



グリーンノベーター



ステラアップス



ブックマイバイ



ジャントリ イノベーション

### 参加者の感想

- とても面白かったです。私が知っている世界はまだ小さいと気づかされました。様々な課題が世の中にはたくさんあって、それを解決しようとしている人たちがいること、どのように解決しているのかを学べてとても勉強になりました。
- 実際に課題を解決するに当たってどのようなことを行っているのかを知れて、勉強になりました。課題を解決していけばいくほど、多くの人々が喜んでいて、私自身も嬉しく感じました。
- ARUNの活動とともに、インドの酪農事情、日本の農業ベンチャーの話まで聞けて、一石三鳥でした。



## 会員・インターンの活動

### Members and interns' activities

ARUNの活動は、会員やインターンによって支えられています。投資やモニタリングといった業務から広報・啓発まで、その時々で必要なチームが結成され、活躍しています。

#### ■ 会員ミーティング

毎月、投資先の近況や様々な活動の進捗、今後の予定などを共有する会員ミーティングを行っています。会員同士での活発な議論が行われ、インターン・プロボノとの交流が生まれる場にもなっています。



西伊豆松崎町での合宿。会員同士の交流と、5年後・10年後のARUNについて討論。

#### ■ アウティング

会員、スタッフ、インターンが参加できるイベントを定期的で開催しています。御岳山で秋の奥多摩を満喫したり、山手線全線を一周するチャリティーウォーク&ランイベント「東京ヤマソン」への参加などを通して、メンバー間の交流をはかっています。



御岳山 秋の奥多摩

東京ヤマソン

- 10月 陣馬山～高尾山縦走
- 11月 御岳山ハイキング
- 12月 東京ヤマソン

### 会員の声



#### 立花香澄 NPO法人勤務

途上国の開発支援に携わる仕事をしていましたが、もう少し違う角度からも関わるといいなと考えていた時に、ARUNに出会いました。社会的投資を通じたARUNの活動には、最貧困層への直接支援とはまた違う熱量と勢いがあります。また、多くの方からの寄付金を原資に投資することで、敷居の高い「途上国の社会起業家への投資」に関わる機会を開いているところにも魅力を感じています。投資に関してはまったく知見がない状態からスタートしましたが、多様なバックグラウンドを持つ会員の皆さんから実務を通して学ぶことができ、大きな刺激になっています。



#### 甲藤知之 エネルギー関連事業会社勤務

会社のメールボックスに届いたJETROのニュースレターでたまたまARUNを知りました。多様なセクター・人々に好影響をもたらし、ひいては発展途上国の課題解決に寄与する社会的投資に共感し、2020年末に入会しました。本業と親和性があることも判り、すぐにプロボノとして投資チームで活動を開始、以降CSIチャレンジIIIの最優秀受賞企業である、ドゥ・アナムへの投資実行の調整や、既存投資先企業のモニタリング等に関わらせていただいています。私は地方在住で、活動もフルオンラインですが、それが可能なも今の時代ならではの、ARUNには様々なバックグラウンドを持つ社会人の方々や、前向きなインターンの学生の方々がいらっしゃり、一緒に活動をする中でいつも元気をもらっています。

### インターンの声



#### 島本理央 神戸市外国語大学 国際関係学専攻

趣味:料理

ビジネスで社会課題を解決する社会的企業に関心があり、途上国の起業家がどのような手法で課題解決に取り組んでいるのかを理解したく、インターンを始めました。起業家へのアンケートを通して抱える課題やニーズの把握をしたり、ビジネスコンテストの開催に携わることで、ARUNとして何ができるのかを考えることができました。また様々なご経験を持つ方々と交流ができ、自分の視野を広げることができたと感じています。



#### 関壮一朗 東京大学大学院国際協力専攻

趣味:サッカー、廃墟めぐり

ビジネスに紐付いた国際協力に興味があり、投資を通して社会的企業を支援しているARUNに魅力を感じインターンを始めました。インターンを始めた当初は、投資や財務についての知識が全くありませんでしたが、会員の方々のサポートのおかげで投資先企業と同じ目線で議論できるようになりました。起業家との会議を重ねることでスタートアップの成長過程を身近で観察することができ、大学では得られない実務経験が積めていると感じます。

## ARUNの活動に参加してみませんか？

### Get Involved

世界の社会起業家とともに、社会課題を解決に導く一歩を共に歩んでみませんか。あなたの「意志あるお金」が世界をより良くしていく活動に繋がります。皆様のご協力をお願いいたします

#### ■ サポーター会員になる <https://arunseed.jp/joinus>

継続的な支援でARUN Seedを支えてくださる会員を募集しています。様々な企画やイベントなどに共に取り組んでいただくことで、現地企業の状況や世界の社会的投資に関する動向に触れることができます。ソーシャルビジネス支援を通じて世界を変えていきたい、社会的投資に関わってみたい、そんな志を持ったメンバー同士のコミュニティーです。



#### ■ 企業・団体として支援する <https://arunseed.jp/joinus-as-association>

世界の社会起業家と共に、新しい社会課題解決の取り組み(SDGs達成)を目指す企業・団体の皆さまを募集しています。現地企業の動向を知ること、新たなイノベーションや事業展開のヒントに繋がるかもしれません。



#### ■ 寄付する <https://arunseed.jp/donation>

都度の寄付でのご支援も受け付けております。いただきましたご寄付は、途上国への社会的投資の実践、社会的投資の調査研究、情報発信などに大切に使用させていただきます。



#### ■ 本・物で寄付する

ご自宅、学校、オフィスなどに眠っている読み終わった本、聴かなくなったCD、観終わったDVD、ゲームソフトなどをダンボールに詰めて送ることで、支援の輪に参加することができる仕組みです。

#### 本棚お助け隊

<https://hondana.biz/charity/>



#### チャリボン

<https://www.charibon.jp/partner/arun-seed/>



#### ■ 活動を知る・参加する

世界の社会起業家とともに、社会課題を解決に導く一歩を共に歩んでみませんか。あなたの「意志あるお金」が世界をより良くしていく活動に繋がります。活動の様子はウェブサイトやSNSで発信しています。いいね！やシェアで応援して頂けると大きな力になります。

#### ウェブサイト

<https://arunseed.jp/>



#### note

<https://note.com/arunseed>



#### twitter

<https://twitter.com/arunllc>



#### LinkedIn

<https://jp.linkedin.com/company/arunseed>



#### facebook

<https://www.facebook.com/ARUNLLC>



#### youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCxjWWanNvclUD1bPJ20KbLA>



#### Instagram

<https://www.instagram.com/arunseed/?hl=ja>



インターンや、専門性と経験を活かしたプロボノなども随時受け付けておりますので、ぜひお問い合わせください。

[info@arunseed.jp](mailto:info@arunseed.jp)  
<https://arunseed.jp/contactus>



## 講演

### Public speaking and lectures

#### ■ 講演活動

2021年 6 月 9 日	国際基督教大学高校:C-Week マルチイベント
2021年 6 月 23 日	神戸情報大学院大学(KIC)・国際協力機構(JICA)・ARUN Seed・Peloria Insights 共同開催 ウェビナーシリーズ「ICT x 平和構築 x 社会的投資が創り出す新しい世界」
2021年 9 月 15 日	沼津西高校「SDGs講座」
2021年11月 9 日	日本アセアンセンター:アセアン最新情報ウェビナー SDGsシリーズ(第5回) 「アセアンにおける社会的インパクトのある企業への日本からの投資」
2021年11月 20 日	国際開発学会:第32回全国大会「研究 x 実践委員会ラウンドテーブル」
2021年12月 17 日	明治大学「社会企業活動」
2022年 1 月 7 日	国際基督教大学「ICU企業金融特別講演II」
2022年 2 月 21 日	仙台市・INTILAQ東北イノベーションセンター:仙台ソーシャルイノベーションナイト 「サステナブルな社会のためのサステナブルなビジネス、サステナブルな個~社会起業家の成功と成長の秘訣を探る~」
2022年 3 月 21 日	JICA Youth Employment Project for Somalia: Workshop for Capacity Development of Start-ups and MSMEs in 2022

他多数

## 財務情報

### Financial overview

#### ■ 財務情報 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

単位:円

経常収益計	4,704,545
経常費用計	9,943,616
事業費	8,344,946
管理費	1,598,670
当期正味財産増減額	△ 5,239,071
前期繰越正味財産額	20,161,312
次期繰越正味財産額	14,922,241

#### 収益内訳

単位:円

経常収益	4,704,545
受取会費	2,495,000
受取寄付金	1,020,457
事業収益	1,189,000
その他収益	88



## 団体概要

### Organization Overview

#### ■ 団体概要

団体名	特定非営利活動法人 ARUN Seed
設立	2014年 3月 10日
所在地	東京都文京区本郷三丁目 40 番 10 号三翔ビル本郷 4 階 小野田高砂法律事務所内 social hive HONGO
URL	https://arunseed.jp/
役員	 <b>代表理事 功能 聡子</b> 特定非営利活動法人 ARUN Seed 代表理事 ARUN 合同会社 代表
	 <b>理事 米倉 誠一郎</b> 法政大学大学院教授 / 一橋大学名誉教授 / 一般社団法人 Creative Response Social Innovation School 学長
	 <b>理事 西郡 俊哉</b> 元国連開発計画 (UNDP)
	 <b>監事 鎌田 博光</b> 一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム 理事 / 投資家フォーラム 運営委員
スタッフ	 <b>池島利裕</b> チーフアドミニストレーター
法人 パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>MS&amp;AD ゆにぞんスマイルクラブ</li> </ul>
プロボノ パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業</li> <li>NPO コミュニケーション支援機構 (a-con)</li> <li>株式会社コパイロット</li> <li>一般社団法人コード・フォー・ジャパン</li> </ul>
事業内容	(1) 社会的投資に関する情報提供 (2) 参加型の社会的投資プラットフォームの構築 (3) 有望な社会起業家の発掘・支援 (4) 社会起業家への社会的投資、知識、技術、ネットワークの提供 (5) 社会的投資に関するセミナー、講演会の開催、企画運営事業 (6) 調査研究の企画、実施、出版物の作成、及び助言事業 (7) グローバル人材育成 (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

特定非営利活動法人 ARUN Seed

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目40番10号 三翔ビル本郷4階

小野田高砂法律事務所内 social hive HONGO

email : [info@arunseed.jp](mailto:info@arunseed.jp)

<https://arunseed.jp>